

三豊市第2次総合計画・基本構想案策定のための基礎調査結果によるポイント①

【アウトカム分析】

1. 現行総合計画でアンケート結果が指標として掲載されている項目一覧

15項目において、平成30年度の目標数値に対して達成していた数値は3項目だけでした。

章	施策	指標項目	単位	平成24年度 (現況数値)	平成30年度 (目標数値)	平成30年度 (実績見込み値)	未達	後期基本計画 該当ページ
第1章	1-6 雇用・勤労者対策、定住促進対策の推進	定住促進対策に関する市民の満足度(市民アンケート調査より)	%	34.6	50.0	37.9	未達	P47
第2章	2-1 環境・景観の保全と創造	自然環境の保全に関する市民の満足度(市民アンケート調査より)	%	50.3	60.0	55.6	未達	P51
		公害などの環境対策に関する市民の満足度(市民アンケート調査より)	%	51.0	60.0	56.8	未達	P51
		ごみの適正処理・リサイクルの促進に関する市民の満足度(市民アンケート調査より)	%	63.8	80.0	70.2	未達	P55
		3R運動をしている市民の割合(市民アンケート調査より)	%	78.4	90.0	72.6	未達	P55
	2-4 生活排水の適正処理	生活排水の適正処理に関する市民の満足度(市民アンケート調査より)	%	63.8	70.0	66.9	未達	P60
	2-5 公園・緑地の整備	公園や広場の整備に関する市民の満足度(市民アンケート調査より)	%	53.9	60.0	45.1	未達	P63
		緑化の推進に関する市民の満足度(市民アンケート調査より)	%	63.3	70.0	63.3	未達	P63
		地元の公園の維持管理に参加している市民の割合(市民アンケート調査より)	%	45.9	50.0	61.6※		P63
		緑化活動をしている市民の割合(市民アンケート調査より)	%	39.0	50.0	61.6※		P63
	2-6 墓地・斎場の整備	斎場の整備・管理に関する市民の満足度(市民アンケート調査より)	%	64.9	70.0	73.2		P66
墓地の整備・管理に関する市民の満足度(市民アンケート調査より)		%	68.6	70.0	66.4	未達	P66	
2-7 土地の有効利用	土地の有効利用に関する市民の満足度(市民アンケート調査より)	%	40.7	50.0	41.1	未達	P68	
第6章	6-1 人権尊重社会の確立	人権尊重社会の確立に関する市民の満足度(市民アンケート調査より)	%	71.6	75.0	68.6	未達	P146
	6-2 男女共同参画の促進	「男女共同参画社会」という言葉をまったく知らない市民の割合(男女共同参画に関する市民アンケート調査より)	%	16.9	10.0	15.7	未達	P149

※ 「地域での自主的な活動に参加している率」により算定

2. 市民の意識・行動特性の把握の必要性

アンケート調査の性質上、意識や行動特性を把握することが主目的となり、総合計画という大きな枠でまちづくりを推進していく上でも重要な位置づけと捉えます。しかし、今回実施したアンケート調査結果からは、期待していたような結果を得られなかった項目が 15 項目中 12 項目となってしまいました。

そもそも、アンケート調査で設定している指標はアウトカム指標と呼ばれ、様々な事業効果として結果が表れてくることから、目標値を設定することが困難です。しかし、事業を実施すれば結果がわかるような指標（アウトプット指標）だけでは、何のために事業を実施しているのか目的が曖昧になりがちです。

そのため、アウトカム指標を設定していくことは、どういう状態を目指していくかを明確にしておく上でも必要だと考えます。こうした考え方から、今回のアンケート調査では、以下の 60 項目について設問を設定しました。

あなたの日頃の行動やお考えについておたずねします。

問 6 三豊市新総合計画を策定し、現在まで市が実施してきたことで、どのような成果を挙げられたのか等を把握するため、あなたの日頃の行動やお考えについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで○印をつけてください。（項目ごと1つに○印）

1	あなたは、地域での自主的な活動（環境美化活動、防災活動、自治会活動等）に参加していますか。
2	あなたは、経済や産業が活発なまちと実感していますか。
3	あなたは、日頃、市内のお店（大型店以外）で買い物をしていますか。
4	あなたは、災害や犯罪が少なく、安心安全なまちと実感していますか。
5	あなたは、ご自宅で、災害に対する備えをしていますか。
6	あなたは、この1年間に、市の講座や教室等を利用した生涯学習活動をしましたか。
7	あなたは、ごみの減量化のため、3R運動〔リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生使用）〕をしていますか。
8	あなたは、環境美化や水質浄化、省資源・省エネルギー、アイドリングストップなど、環境に配慮した生活をしていますか。
9	あなたは、日頃、健康増進のための取り組み（食生活の改善や運動など）をしていますか。
10	あなたは、身近な地域での見守り、支え合いなど、地域福祉活動に参加していますか。
11	あなたは、週1回以上、スポーツ活動をしていますか。
12	あなたは、普段、できるだけ公共の交通機関を利用するようにしていますか。
13	あなたは徒歩、自転車、車などで、市内の道路を快適に利用していますか。
14	あなたは、自分らしい暮らし方をしていますか。
15	あなたは、市内で外国人の方と交流をしていますか。
16	あなたは、性別や年齢を問わず、意欲のある人が働きやすい環境が整っていると思いますか。
17	あなたは、若い世代が働きやすいまちになっていると思いますか。
18	あなたは、若い世代が暮らしたいと思う魅力的なまちになっていると思いますか。
19	あなたは、挑戦する人を進んで応援するまちになっていると思いますか。
20	あなたは、市内の企業やお店は子育て支援に積極的だと思いますか。

21	あなたは、住んでいる地域のお店に活気があると思いますか。
22	あなたは、住んでいる地域に観光客が増えていると思いますか。
23	あなたは、災害に対して住んでいる地域は安全だと思いますか。
24	あなたは、自然を守るためなら生活が少し不便でも良いと思いますか。
25	あなたは、住んでいる地域の自然環境は守られていると思いますか。
26	あなたは、女性が活躍する（できる）まちになっていると思いますか。
27	あなたは、人権を大事にするまちになっていると思いますか。
28	あなたは、若い世代が子育てしやすいまちになっていると思いますか。
29	あなたは、住んでいる地域の子どものびのびと育っていると思いますか。
30	あなたは、子育てについて、地域で支え合う雰囲気があると思いますか。
31	あなたは、住んでいる地域が高齢者や障害者にも暮らしやすいと思いますか。
32	あなたは、住んでいる地域の高齢者がいきいきと暮らしていると思いますか。
33	あなたは、食べ物や飲み水は安心だと思いますか。
34	あなたは、市内のどこへでも便利に移動できると思いますか。
35	あなたは、住んでいる地域の公共交通は便利だと思いますか。
36	あなたは、住んでいる地域は買い物や通勤、通学、通院に便利だと思いますか。
37	あなたは、住んでいる地域で登下校時の見守り・パトロールや街灯整備等の安全・安心を守る取り組みが盛んだと思いますか。
38	あなたは、地域に自分の活躍の場がありますか。
39	あなたは、地域内の異なる世代の人と付き合いがありますか。
40	あなたは、自慢したい地域の風景や名所がありますか。
41	あなたは、目的をもって学んでいることがありますか（学生の方は学校以外で）。
42	あなたは、老後に不安を感じますか。
43	あなたは、仕事（または勉強）を通じて技術や能力が高まっていると感じますか。
44	あなたは、自分の仕事（または勉強）にやりがいを感じますか（仕事にはボランティアなども含みます）。
45	あなたは、個人の考えが尊重されるまちだと感じていますか。
46	あなたは、この1年間に三豊市役所へ2回以上、手続きや相談等に行きましたか。
47	あなたは、この1年間に三豊市各支所へ2回以上、手続きや相談等に行きましたか。
48	あなたは、困ったときに相談できる人が近所や地域にいますか。
49	あなたは、市内にかかりつけの医者はいますか。
50	あなたは、住んでいる家に満足していますか。
51	あなたは、子ども達の学校以外の教育環境に満足していますか。
52	あなたは、災害時の避難路・避難場所を知っていますか。
53	あなたは、男女共同参画社会という言葉を知っていますか。
54	あなたは、地元や市内でとれた農水産物を買っていますか。
55	あなたは、「広報みとよ」を読んでいますか。
56	あなたは、市のホームページを見たことがありますか。
57	あなたは、夜9時以降に住んでいる地域を安心して歩けますか。
58	あなたは、日用品等を購入する際に、環境に配慮したものを選んでしていますか。
59	あなたは、節水を心がけていますか。
60	あなたは、仕事（または勉強）と生活のバランスが自分の希望通りになっていますか。

3. 特徴的な結果

上記 60 問に対して、特徴的な結果は以下の通りです。

資料 1 の ページ番号	該当設問	特徴	分析の視点
P. 37	(1) 地域での自主的な活動への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・男女別では、女性の方が「している」割合が低い ・16～19 歳、20～29 歳、30～39 歳の「している」割合が低い。 ・居住地区別では、豊中地区と仁尾地区が 50% 台と低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性・若年層・豊中・仁尾地区の自主的活動の底上げを図る策を検討する。 ・自主的な活動に参加している人が多い活動とそうでない活動の実態を分析する。
P. 41	(5) 災害に対する備え	<ul style="list-style-type: none"> ・男女差がほとんどないものの、世代間や地区別で異なる傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時要援護者や地区による災害リスクに応じて、最低限の備えをきめ細かく啓発していく取り組みが求められる。
P. 42	(6) 市の講座や教室等を利用した生涯学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・女性よりも男性の利用者割合が低い。 ・加齢とともに利用率が上がっていく傾向がある。 ・居住地区では最大と最小の差は 11.4 ポイント。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講座や教室等の周知方法がマンネリ化していないか。 ・講座や教室等の内容がマンネリ化していないか。 ・対象者の拡大をそもそも図りたいか。
P. 45	(9) 健康増進のための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の割合が低い。 ・特定健診対象の年代の意識が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットにうまく意識啓発ができていないか。
P. 48	(12) 公共交通機関の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・16～19 歳だけが利用割合が高い。 <p>(類似として P. 51 の (15))</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の費用対効果を考えると、利用率を上げる取り組みも必要だが、利用が進まない場合の一時的な撤退戦略も検討するべき。
P. 59	(23) 災害に対して住んでいる地域は安全か	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの層で回答割合が半々になっているが、山本地区や豊中地区は比較的「思う」の割合が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どういった災害リスクを心配しているかを踏まえた防災対策や意識啓発が求められる。
<p>P. 70、P. 71、P. 72 の移動に関する設問は仁尾・財田地区で極端に「思う」の割合が低い。こうした意識の地域間格差は、地域の一体感を阻害しかねなく、何らかの対応が必要な可能性が高い。施策として方向性を打ち出す際に、こうした状況をどこまで踏まえて内容を落とし込むべきか検討が必要。</p>			